



2021年6月期（第63期）第2四半期 決算説明資料

2021.02.25

1. 決算の概要
2. セグメント別状況
3. 今後の発展を見据えて
4. 2021年6月期（第63期）の見通し

【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に(株)構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

1

決算の概要

第2四半期損益計算書ハイライト

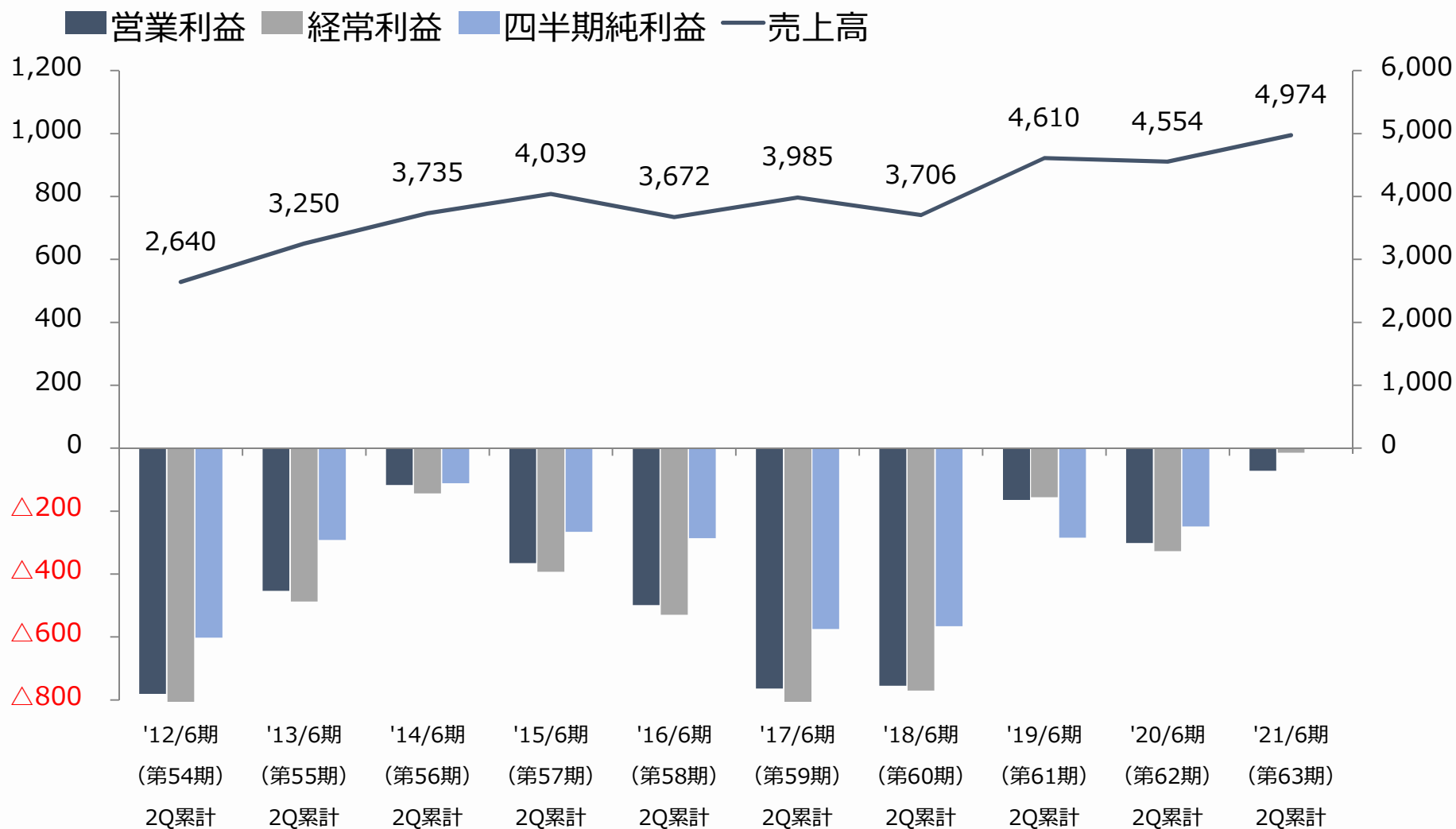
(単位：百万円)

	'20/6期2Q (第62期)	'21/6期2Q (第63期)	増減額	増減率
売上高	4,554	4,974	419	9.2%
売上原価	2,153	2,386	232	10.8%
売上総利益 (利益率)	2,400 (52.7%)	2,588 (52.0%)	187	7.8%
販売費及び一般管理費	2,701	2,660	△41	△1.5%
営業利益 (△損失) (利益率)	△301 (△6.6%)	△72 (△1.5%)	228	—
営業外損益	△26	57	83	—
経常利益 (△損失) (利益率)	△327 (△7.2%)	△14 (△0.3%)	312	—
特別損益	△13	△41	△28	—
税引前四半期純利益 (△損失)	△340	△56	284	—
法人税等	△90	△58	32	—
四半期純利益 (△損失) (利益率)	△249 (△5.5%)	2 (0.0%)	252	—

第2四半期の業績推移

利益（単位：百万円）

売上（単位：百万円）



貸借対照表ハイライト（前期末比較）

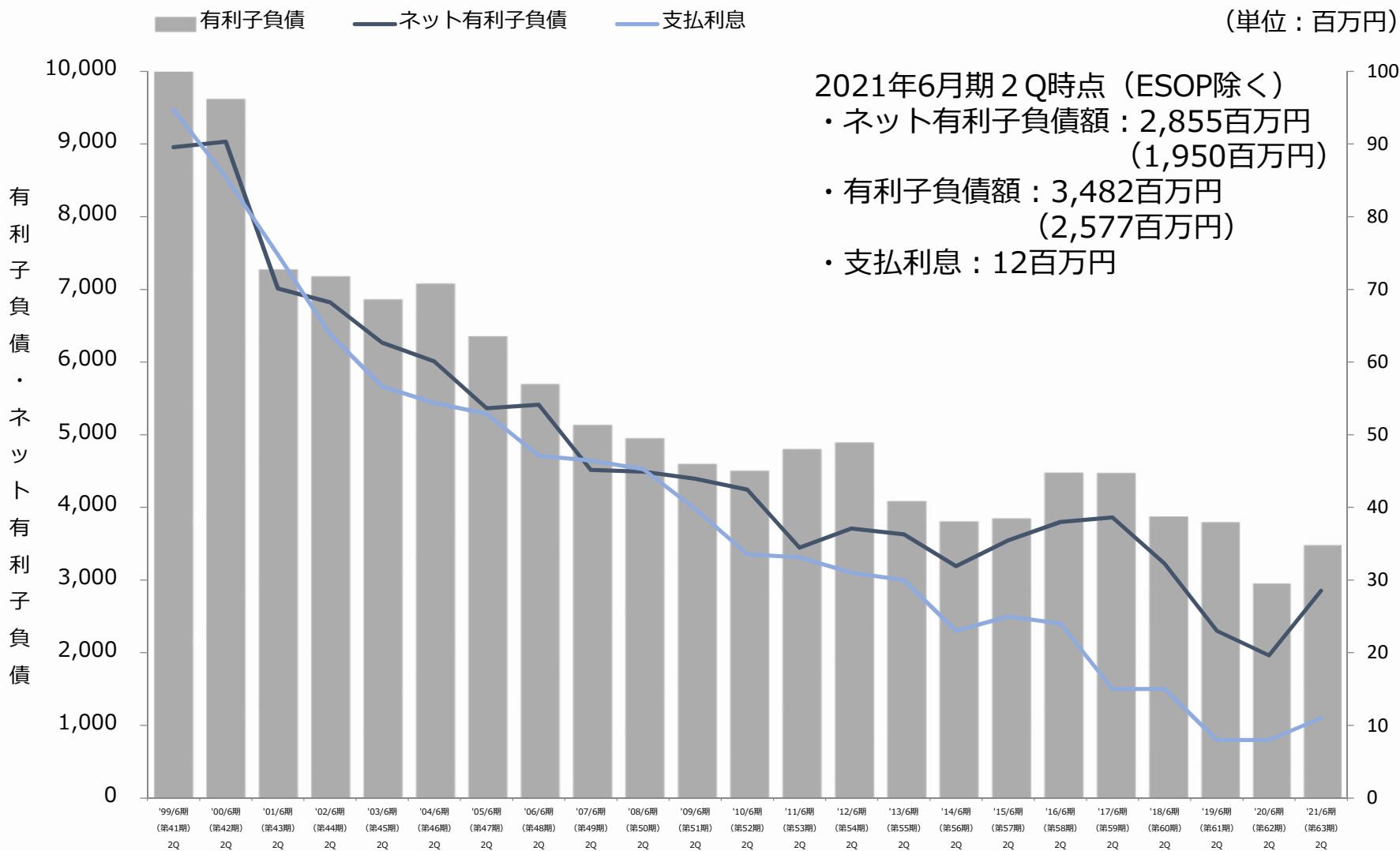
（単位：百万円）

科目	'20/6期末 (第62期)	'21/6期2Q (第63期)	増減額	科目	'20/6期末 (第62期)	'21/6期2Q (第63期)	増減額
現金及び預金	2,014	627	△1,386	短期借入金	—	360	360
受取手形・売掛金	1,952	1,591	△360	一年内 長期借入金・社債	794	644	△150
仕掛品	678	1,302	623	前受金	1,101	991	△110
その他	1,179	1,340	161	未払費用	748	202	△545
				その他	1,838	1,202	△636
【流動資産】	5,824	4,862	△962	【流動負債】	4,483	3,400	△1,082
有形固定資産	5,119	5,060	△58	長期借入金・社債	1,887	2,478	590
無形固定資産	430	394	△36	退職給付引当金	2,066	2,154	87
投資その他の資産	3,558	3,843	285	その他	229	235	6
投資有価証券	1,831	2,062	231	【固定負債】	4,184	4,868	684
関係会社株式	291	291	—	【負債の部】	8,667	8,269	△397
関係会社出資金	44	54	9	資本金	1,010	1,010	—
繰延税金資産	897	932	35	資本剰余金	1,159	1,325	165
その他	493	503	9	利益剰余金	4,760	4,345	△415
【固定資産】	9,108	9,298	190	自己株式	△671	△857	△186
				其他有価証券			
				評価差額金	5	68	62
				【純資産の部】	6,264	5,891	△373
【資産の部】	14,932	14,160	△771	【負債及び 純資産の部】	14,932	14,160	△771

※ 1 自己資本比率 '20/6期末 (42.0%) '21/6期2Q (41.6%)

※ 2 第63期のESOP取込の影響：流動資産その他に177百万円、自己株式に752百万円、長期借入金に905百万円が含まれる

ネット有利子負債の推移



キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位：百万円)

	'20/6期 2Q (第62期)	'21/6期 2Q (第63期)	増減額
期首現預金残高	1,351	2,014	662
営業活動CF	△553	△1,584	△1,031
投資活動CF	△320	△172	148
フリーCF	△873	△1,756	△883
財務活動CF	510	369	△141
期末現預金残高	988	627	△361

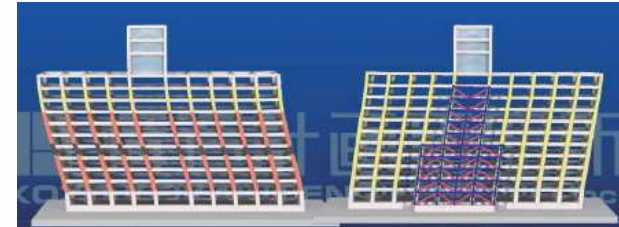
(単位：百万円)

主な営業活動CF	'20/6期 2Q	'21/6期 2Q	増減額
税引前四半期純損失	△340	△56	284
売上債権の減少	1,188	250	△937
たな卸資産の増加	△780	△628	152
主な投資活動CF	'20/6期 2Q	'21/6期 2Q	増減額
投資有価証券の取得	△50	△187	△137
有形固定資産の売却	—	85	85
無形固定資産の取得	△48	△39	9
主な財務活動CF	'20/6期 2Q	'21/6期 2Q	増減額
短期借入金の純増	1,200	360	△840
長期借入金の純増減	△583	490	1,074
自己株式処分収入	309	774	464

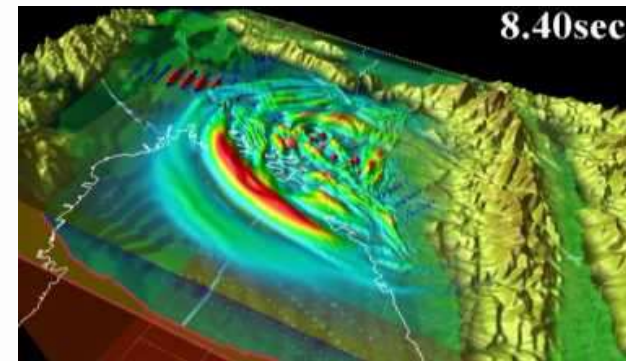
2

セグメント別状況

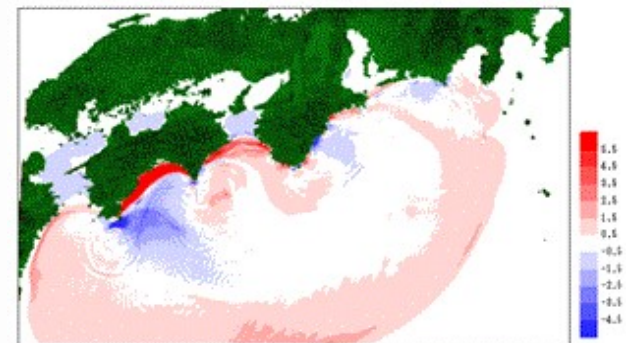
- 構造設計・構造解析コンサルティング
 - 高層建築設計、大規模建築物の構造解析
- 環境評価・防災コンサルティング
 - 地震動評価、風況解析、災害リスク評価
- 住宅・建設分野のシステム開発
 - CAD・BIM・構造計算を含むシステム開発
- 意思決定支援コンサルティング
 - 社会シミュレーション、最適化
- 情報通信技術コンサルティング
 - 通信ネットワーク・電波伝搬・電磁界シミュレーション



構造物の耐震解析



地震動シミュレーション

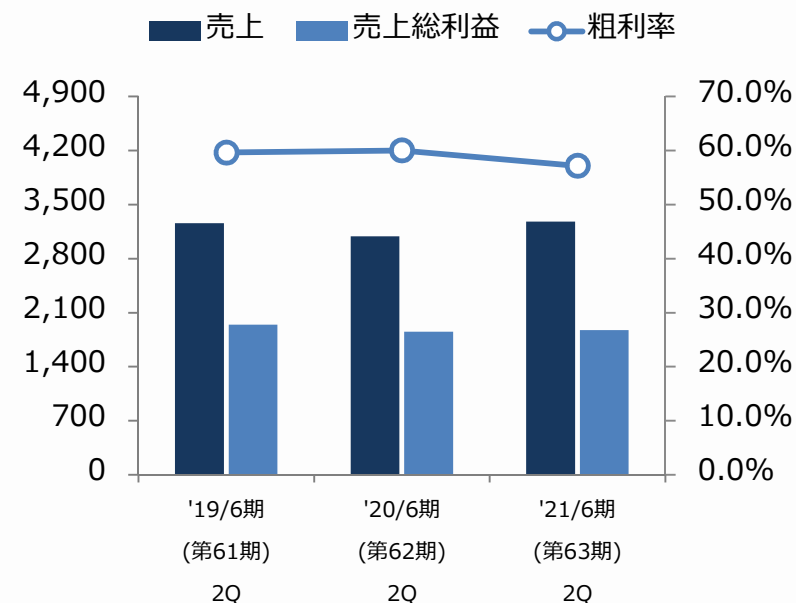


津波リスク評価

エンジニアリングコンサルティング（EC）

（単位：百万円）

	'19/6期 (第61期) 2Q	'20/6期 (第62期) 2Q	'21/6期 (第63期) 2Q	対前年同期 増減額
受注高	4,845	5,414	4,784	△ 629
売上高	3,259	3,090	3,278	187
売上総利益	1,943	1,854	1,873	19
（利益率）	(59.6%)	(60.0%)	(57.2%)	
受注残高	5,943	7,518	6,813	△ 705



業績分析

- 対面業界におけるシステム開発での投資意欲が引き続き旺盛な状況のため、住宅メーカー向けシステム開発業務、建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移
- 構造設計コンサルティング業務も引き続き堅調に推移

プロダクツサービス (PS)

事業テーマ

製造業

CAE、熱流体解析、
粒子法、粉体解析、
営業支援ソリューション
等

構造・耐震解析

建築構造物解析、
地盤解析等

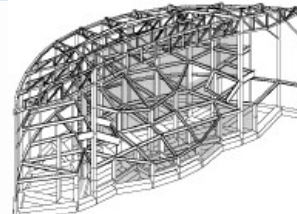
意思決定支援

社会シミュレーション、
リスク評価、最適
化等

情報通信・IoT

電波伝搬解析、
屋内ナビゲーション、
メール配信、
リモートロック等

パッケージ販売型の例



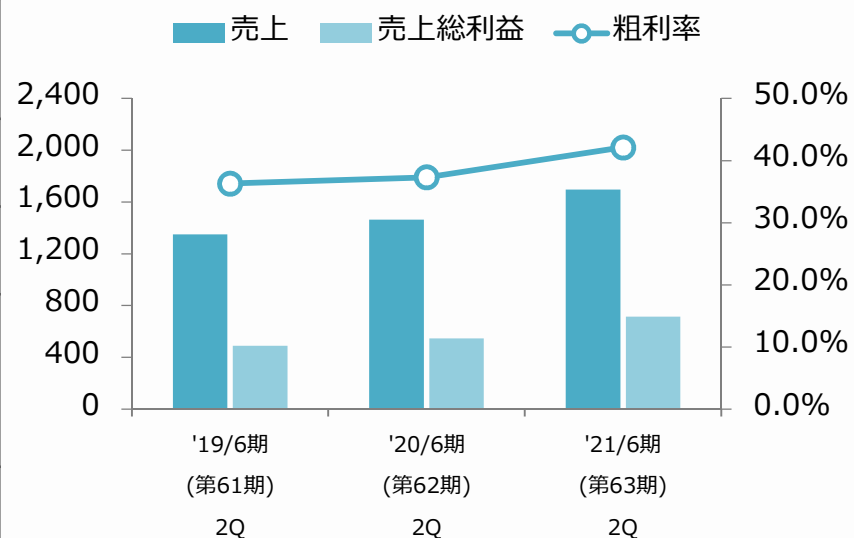
クラウドサービス提供型の例



プロダクツサービス (PS)

(単位：百万円)

	'19/6期 (第61期) 2Q	'20/6期 (第62期) 2Q	'21/6期 (第63期) 2Q	対前年同期 増減額
受注高	1,173	1,398	1,534	135
売上高	1,350	1,464	1,696	231
売上総利益	490	546	714	
(利益率)	(36.3%)	(37.3%)	(42.1%)	168
受注残高	886	1,017	958	△ 58

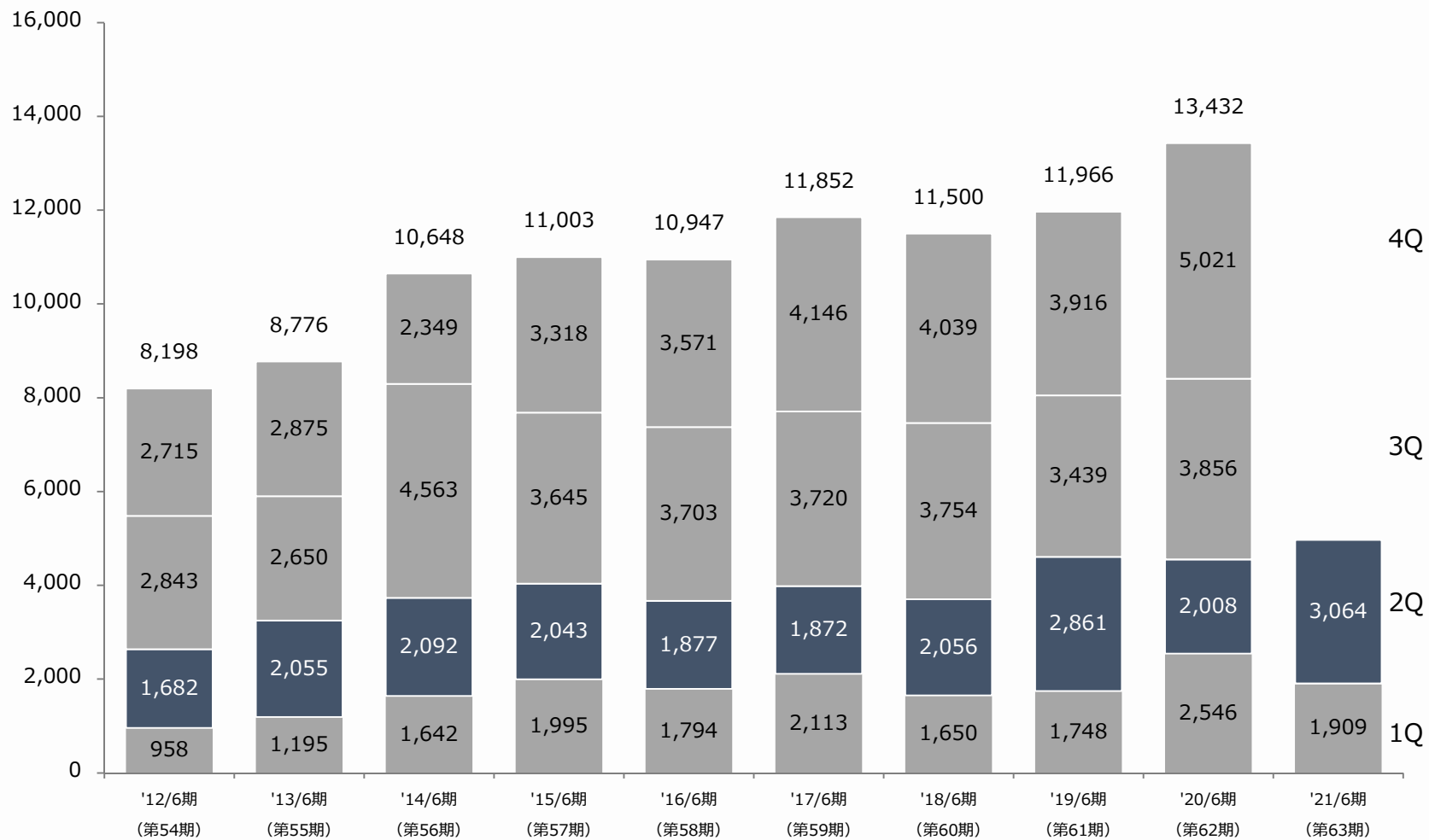


業績分析

- 米国Twilio, Inc.のクラウドベースメール配信サービスや米国LockState, Inc.の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大
- 設計者向けCAEソフト、粒子法流体解析ソフトの販売が堅調に推移

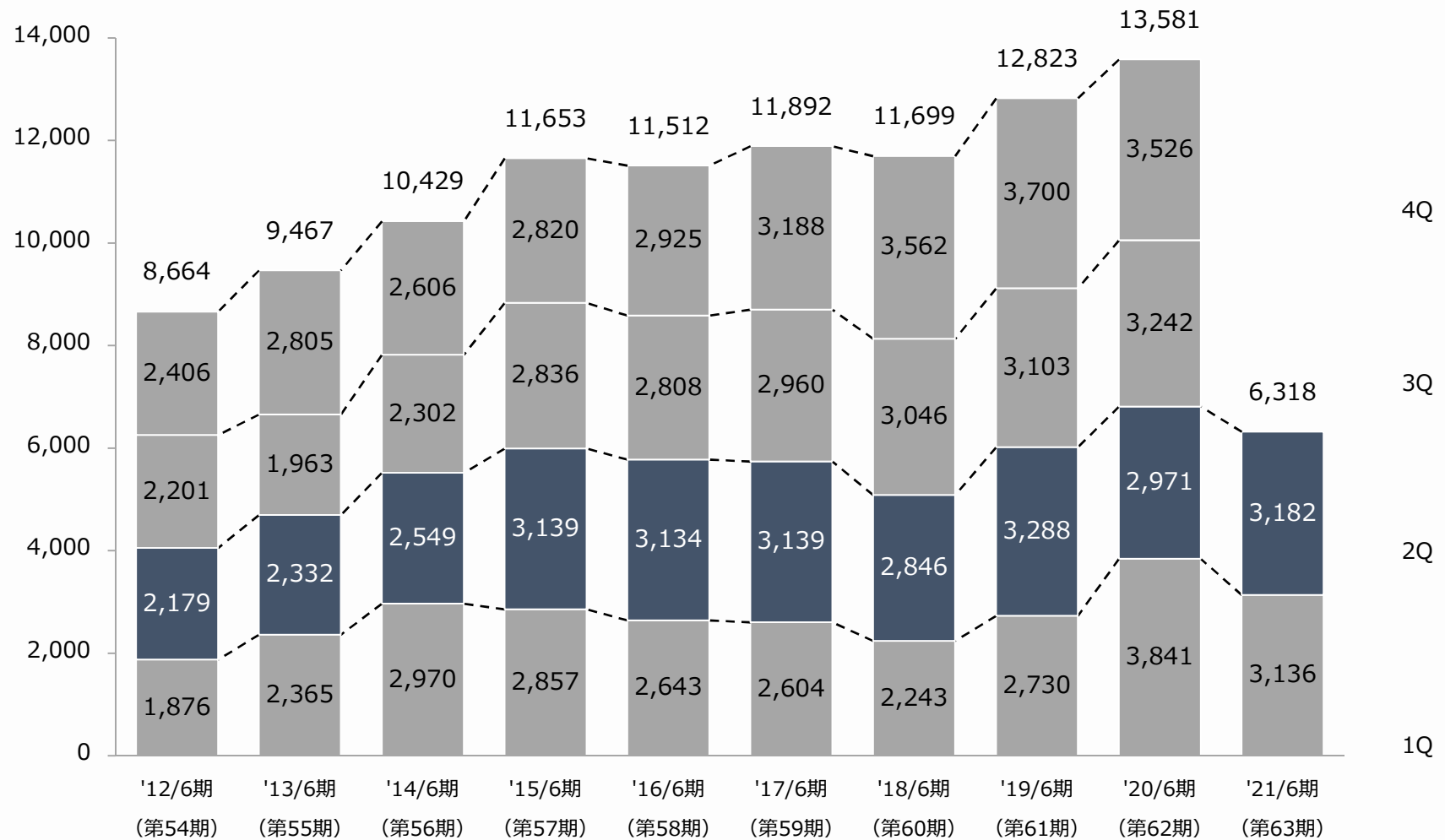
四半期別売上高の推移

(単位：百万円)



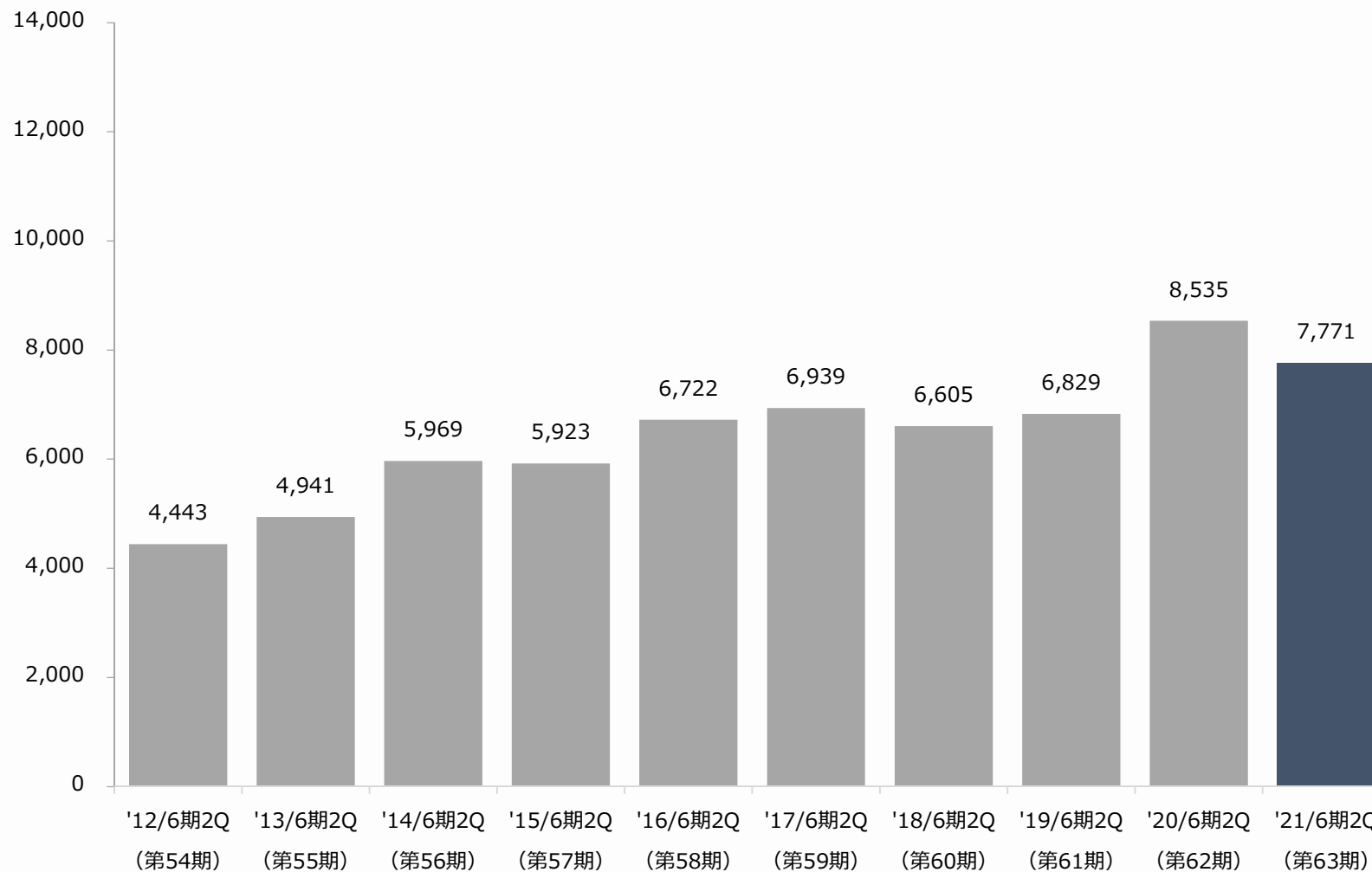
四半期別受注高の推移

(単位：百万円)



第2四半期末 受注残高の推移

(単位：百万円)



3

今後の発展を見据えて

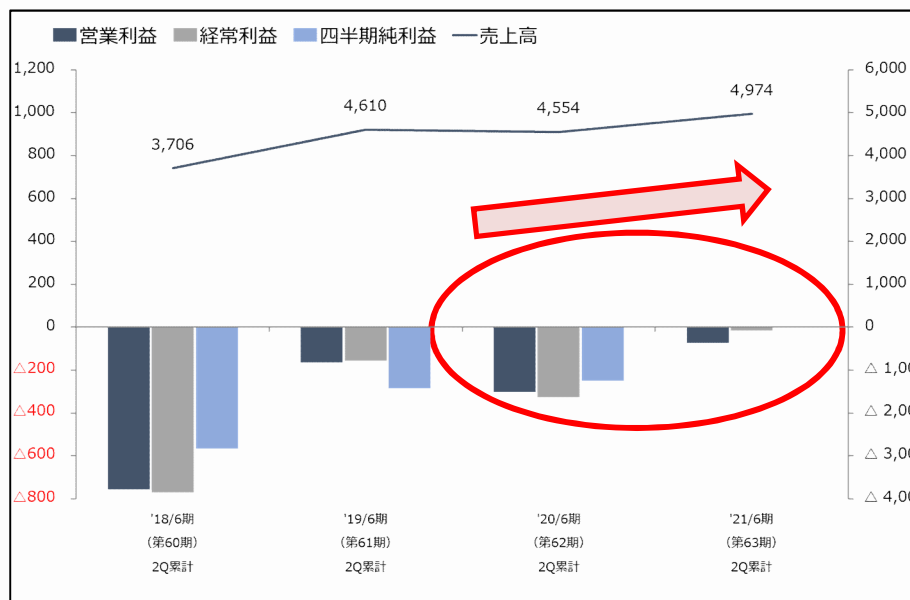
21世紀の日本を代表する
知識集約型企业
Design & Engineering Firm

*Innovating for a **Wise Future***

当社業績の状況

業績下落	業績好調
空運業	電気・機器
陸運業	化学
サービス業	情報・通信業

出所：NHK「コロナで二極化 業績見通し上方修正目立つ 上場企業決算」より作成



業績の2極化が見られる中、
当社は業績を維持



知識(工学知)を
ビジネスに活用し
イノベーションを支援

様々な分野の顧客との信頼を基盤とし、
既存の事業と新たな事業が堅調に推移

当社の事業領域

- 構造設計・構造解析コンサルティング

- 高層建築設計、大規模建築物の構造解析

風力発電

木質構造



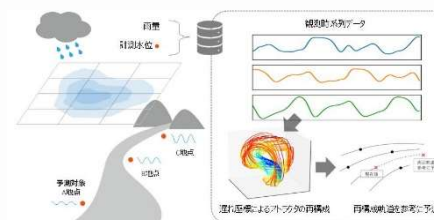
- 環境評価・防災コンサルティング

- 地震動評価、風況解析、災害リスク評価

RiverCast

- 住宅・建設分野のシステム開発

- CAD・BIM・構造計算を含むシステム開発



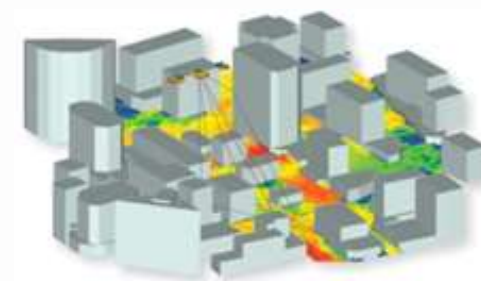
- 意思決定支援コンサルティング

- 社会シミュレーション、最適化

- 情報通信技術コンサルティング

- 通信ネットワーク・電波伝搬・
電磁界シミュレーション

5Gの
取り組み



既存の事業においても**成長分野**で事業を積極的に推進

構造設計：「風力発電設計部」の新設

- 2013年、設計法に関わる委員会に参画し、経産省が立案する設計指針に関与
各地方都市において設計指針の普及活動に尽力
- 陸上風力事業において高いシェアを獲得
- 2020年8月「風力発電設計部」を新設

陸上風力発電関連業務の実績

種別	概要	件数
基礎構造設計	風力発電設備の支持構造物の基礎設計業務 (大型陸上風力の基礎設計、時刻歴応答解析など)	81件
タワー構造照査	海外製の風力発電設備タワー部の構造照査業務 (日本基準での構造照査、補強提案など)	50件
審査対応	第三者機関や経済産業省などでの審査における質疑対応 (構造部分に関する質疑対応や指摘事項検討など)	81件

集計期間：2010年～2021年1月



取り巻く環境の変化（カーボンニュートラル宣言）

- 脱炭素社会に向けて、2050年二酸化炭素実質排出量ゼロに取り組むことを表明する地方公共団体が増加
- 陸上風力事業のさらなる拡大を目指すとともに、**洋上風力事業**での価値創出を目指す



- 2010年 国が率先して木材利用に取り組む基本方針
「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」を提示
- 2011年頃より 木造建築の新たな可能性を目指し、当社でも研究を開始
- 2021年 国が国土強靱化の計画にて木造建築物の整備等を支援する方針を提示



木材パネルを市松状に組み合わせた耐震壁を考案、**特許取得**。
デザイン性・採光性・施工性の高い建築物の実現が可能に。

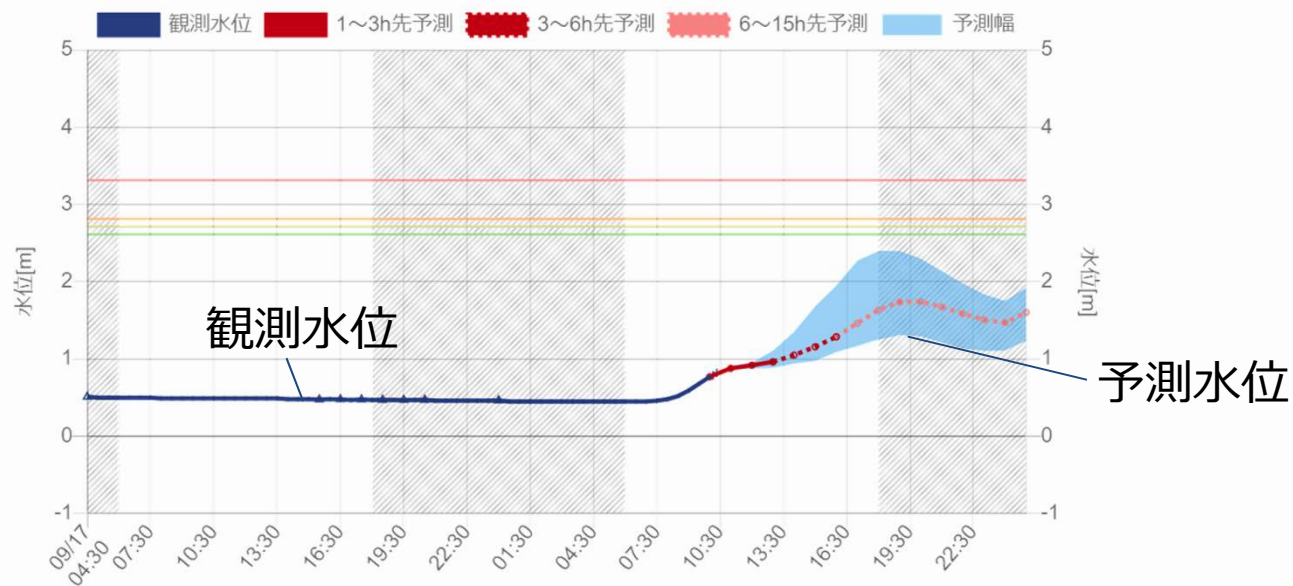


市松状の木材パネルを利用して建設中の幼稚園

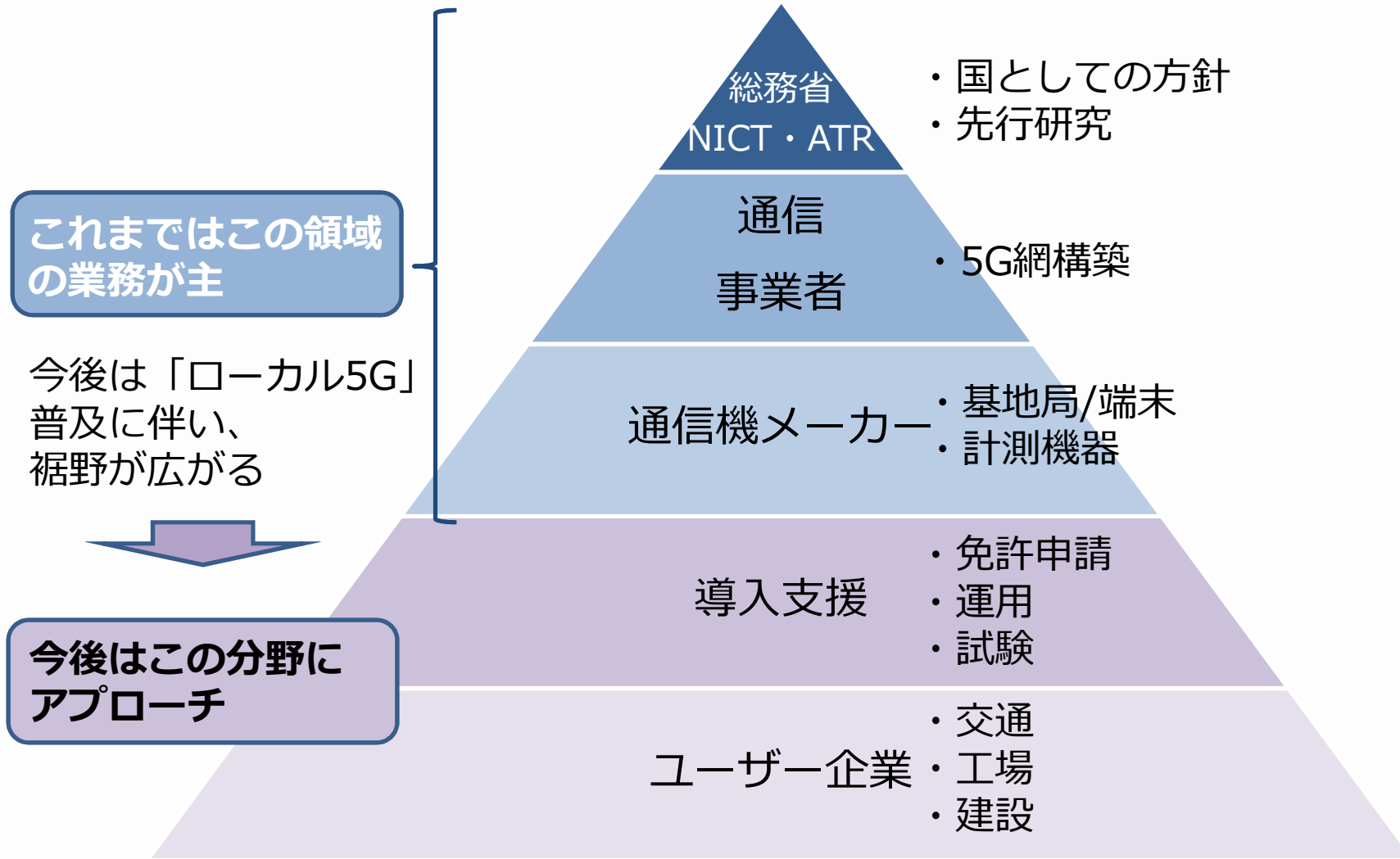
2020年8月「木質創造設計室」を新設
木質材料を活用した構造設計コンサルティングを通じて、
サステナブルな社会の実現に貢献していく

防災：洪水予測システム「RiverCast」

- 東京大学 生産技術研究所 合原一幸 特別教授と共同で2016年より社会連携部門「未来の複雑社会システムのための数理工学」を設置
短時間の観測データからターゲットとなる変数を予測する手法を開発
- 2018年 研究成果を適用した「リアルタイム洪水予測システム」を開発
激甚化する豪雨災害から社会を守るべく社会実装へ
 - ・ 神奈川県川崎市内において現場実証を開始
 - ・ 大手ゼネコン(工事現場等)へ提供



5G関連市場ピラミッド



これまでのこの領域の業務が主

今後は「ローカル5G」普及に伴い、裾野が広がる



今後はこの分野にアプローチ



• Twilio SendGrid

- クラウドベースのメール配信サービス
- **2013年より**日本向けサービスを開始

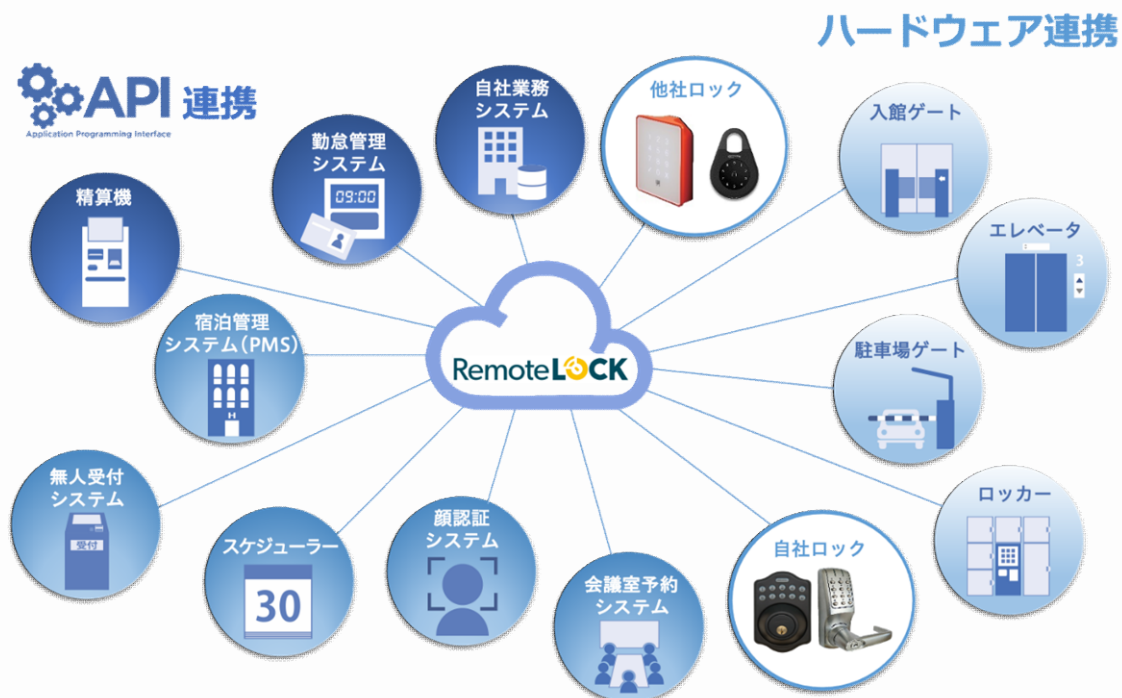
• RemoteLOCK

- Wi-Fi型スマートロック
- **2017年より**日本市場での販売、サービスを開始

• NavVis

- 空間を3Dマッピングするプラットフォーム
- **2015年より**業務提携を開始、日本市場にて販売、ソリューションを展開

「RemoteLOCKプラットフォーム」



- ❑ メーカーを問わず様々なデバイスの管理や各種サービスとの連携が可能なアクセスコントロールのオープンプラットフォーム
- ❑ 入退室管理だけでなく、プラットフォームとして、様々な連携を通じて「付加価値」を提供



日本国内プラットフォームの第1号パートナーとして、ウエスト社とパートナー協定を締結

地方自治体に向けた展開

- 公共施設における行政側の管理負荷の高さ、および利用者の利便性の低さという課題が顕在化



- RemoteLOCK・予約システム「まちかぎリモート」により、施設利用の手続きを簡略化
- 茨城県小美玉市、兵庫県芦屋市と実証実験開始。現在**13自治体**へ導入
- 現在約50自治体をフォロー。今後の案件化に向けて取り組んでいく



<https://www.kke.co.jp>

兵庫県芦屋市



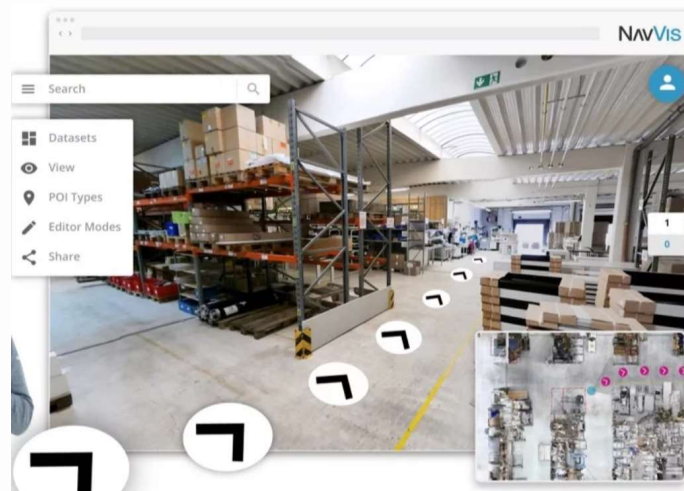
大阪府池田市

NavVis GmbH

- 大学発の技術を用いた屋内3次元デジタル化ソリューション
- インダストリー4.0の流れの中で複数の独大手自動車メーカーの他建設業やFM分野にも拡大
- 経営陣およびVCの多くは独マッキンゼー出身
- 2013年5月に創業し社員数200名に成長
- 2020年7月 欧州投資銀行より2,000万ユーロ融資枠設定

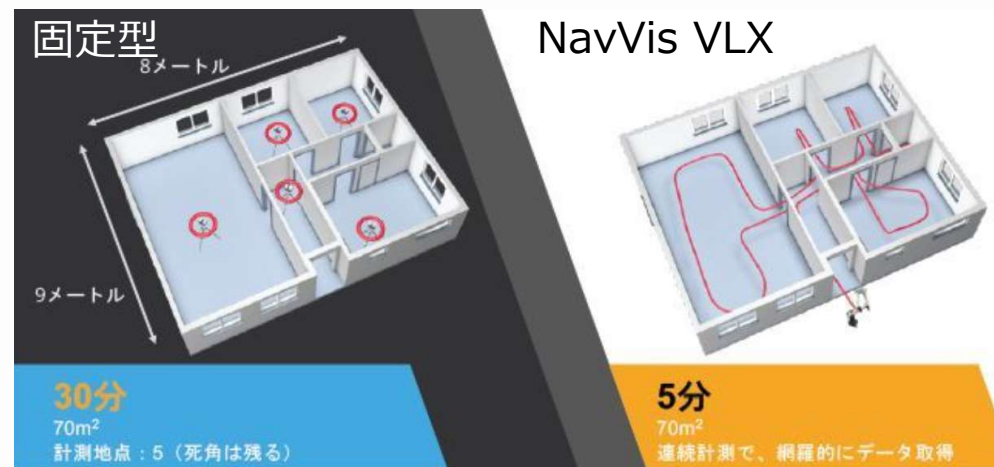
NAVVIS

本社：独・ミュンヘン



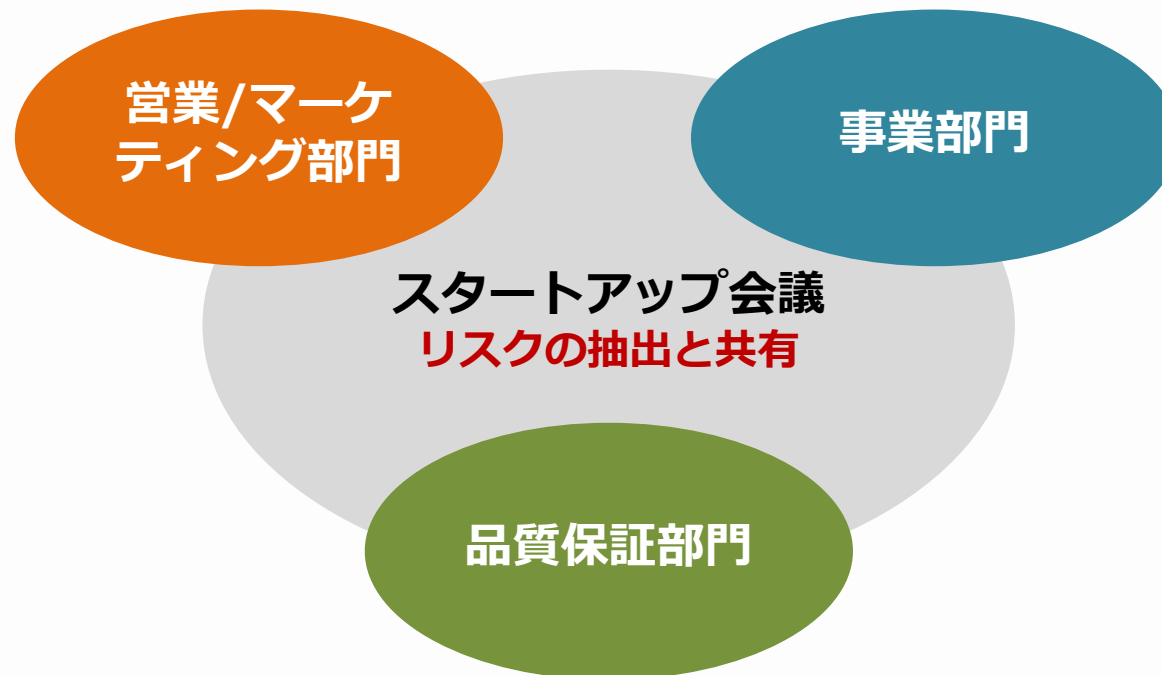
NavVis VLX 日本での展開

- 製造業における施設の3Dデータ化に対するニーズの高まり
デジタルツイン、生産シミュレーション構築を目的に
- 遠隔地からの管理・意思決定を行うことが可能となり、生産・保守の
業務効率化が可能に
- VLXの登場により、製造業だけでなく建築やインフラ業界からの相談増
大手インフラ業界施設や工事現場等へ導入
- 2020年に4回開催したWebinarが好評、各回100名以上が参加



固定型計測機とウェアラブル型(VLX)の作業時間比較 (イメージ)

- 品質問題は中長期的に大きな影響を与える
- 品質の確保に向けて、プロジェクト開始前の提案・見積・契約段階においてリスクを回避する取り組みを実施



スタートアップ会議を開催し、
「営業/マーケティング部門」「事業部門」「品質保証チーム」が
協力してリスクを抽出・共有して対策を着実に行う

ありたい姿を目指して

21世紀の日本を代表する
知識集約型企业
Design & Engineering Firm

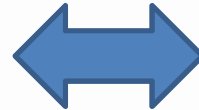
*Innovating for a **Wise Future***

知識集約型企業として

従来型の日本企業

(資本・労働集約型)

- 資本
- 時給
- 繰り返し
- 不動産

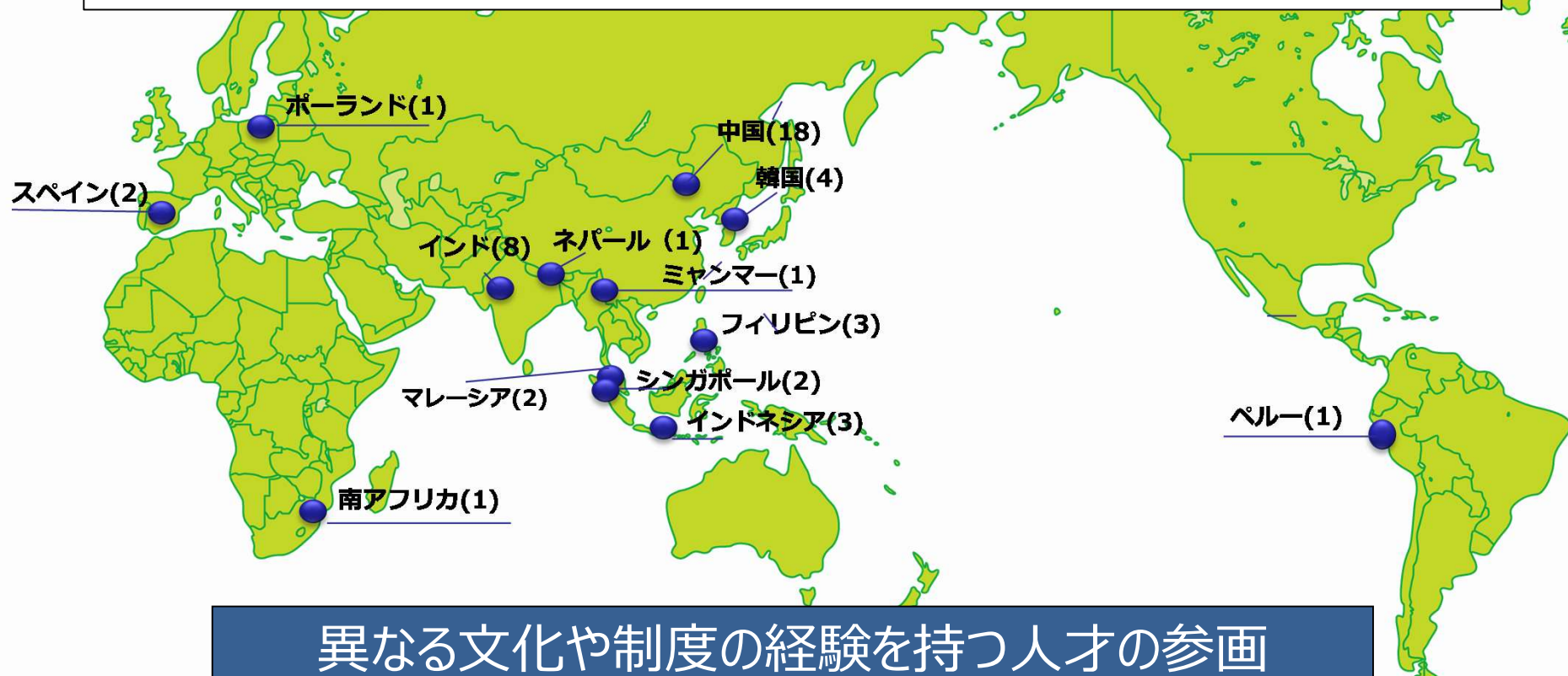


構造計画研究所

- 知識、ノウハウ
- 成果の評価
- 常に変化
- **人 人才**

「知」を「価値」として社会に提供していく

2014年より海外での採用を本格的に開始
2020年6月末で外国籍所員は全所員の8%を占める



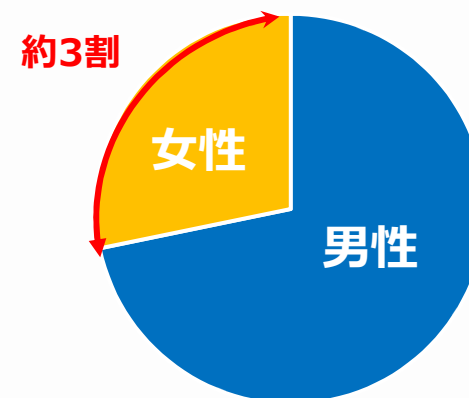
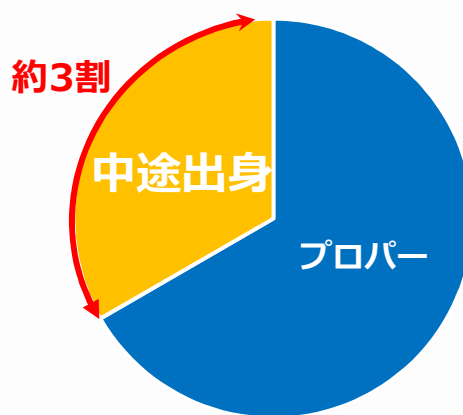
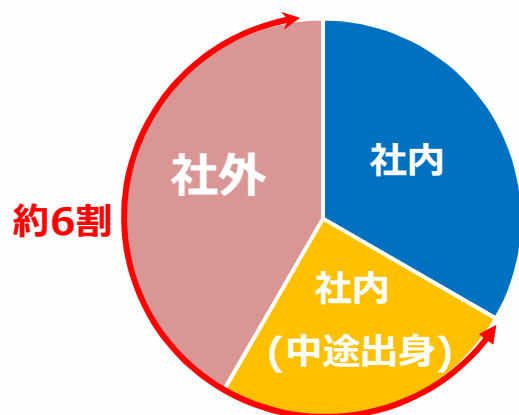
異なる文化や制度の経験を持つ人才の参画
組織の活性化、新たな事業展開への土壌

多様なバックグラウンドの人才が参画

取締役構成 12名

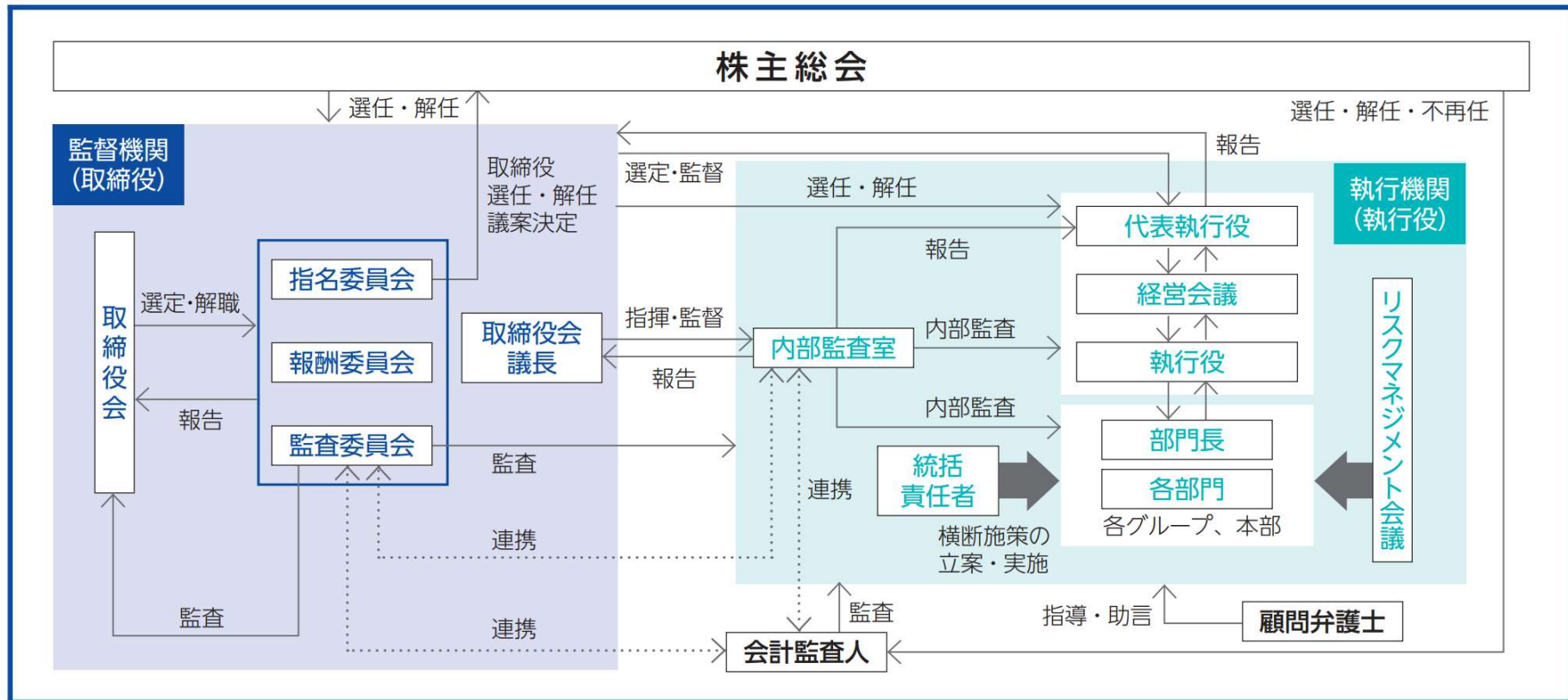
執行役,執行役員構成 17名

所員男女比



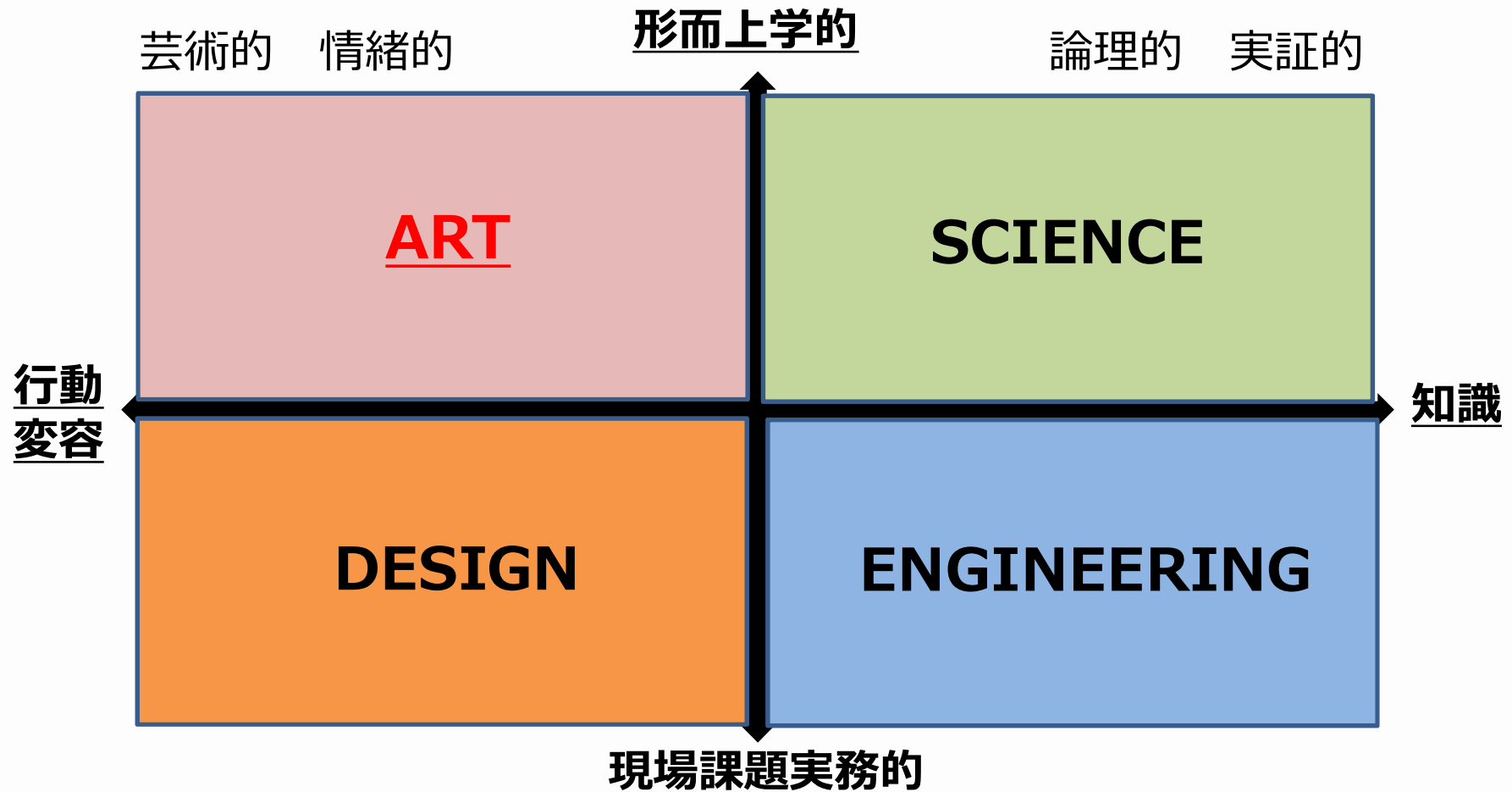
多様な人才が切磋琢磨し
成長・活躍

ガバナンス体制



- 2019年9月より「指名委員会等設置会社」へ移行
- 上場企業3,700社のうち約80社のみ採用

21世紀を代表する知識集約型企業を目指して



Professional Design & Engineering Firm

4 2021年6月期（第63期）の見通し

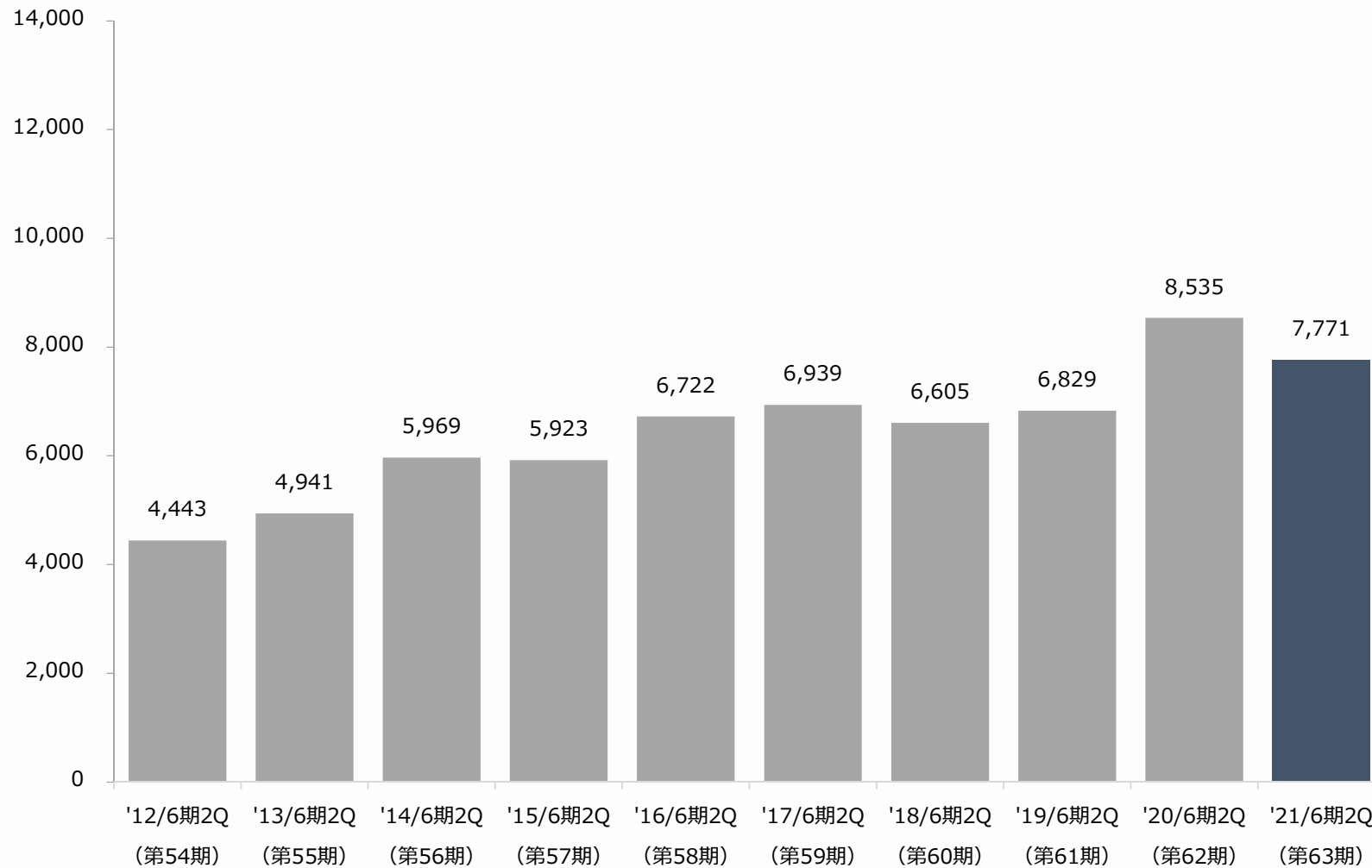
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第62期 2 Q 累計	4,555	△301	△327	△250
第63期 2 Q 累計	4,975	△72	△15	2
前年同期比	9.22%	—	—	—

- 63期の上半期業績は好調
 過年度の売上比率⇒上半期：下半期 = 3：7
 今年度の売上比率⇒上半期：下半期計画 = 4：6
- 売上高及び各利益は 2 Q 累計期間としては過去最高
- 営業利益、経常利益は大幅赤字減、純利益については黒字転換

第2四半期末 受注残高の推移

(単位：百万円)



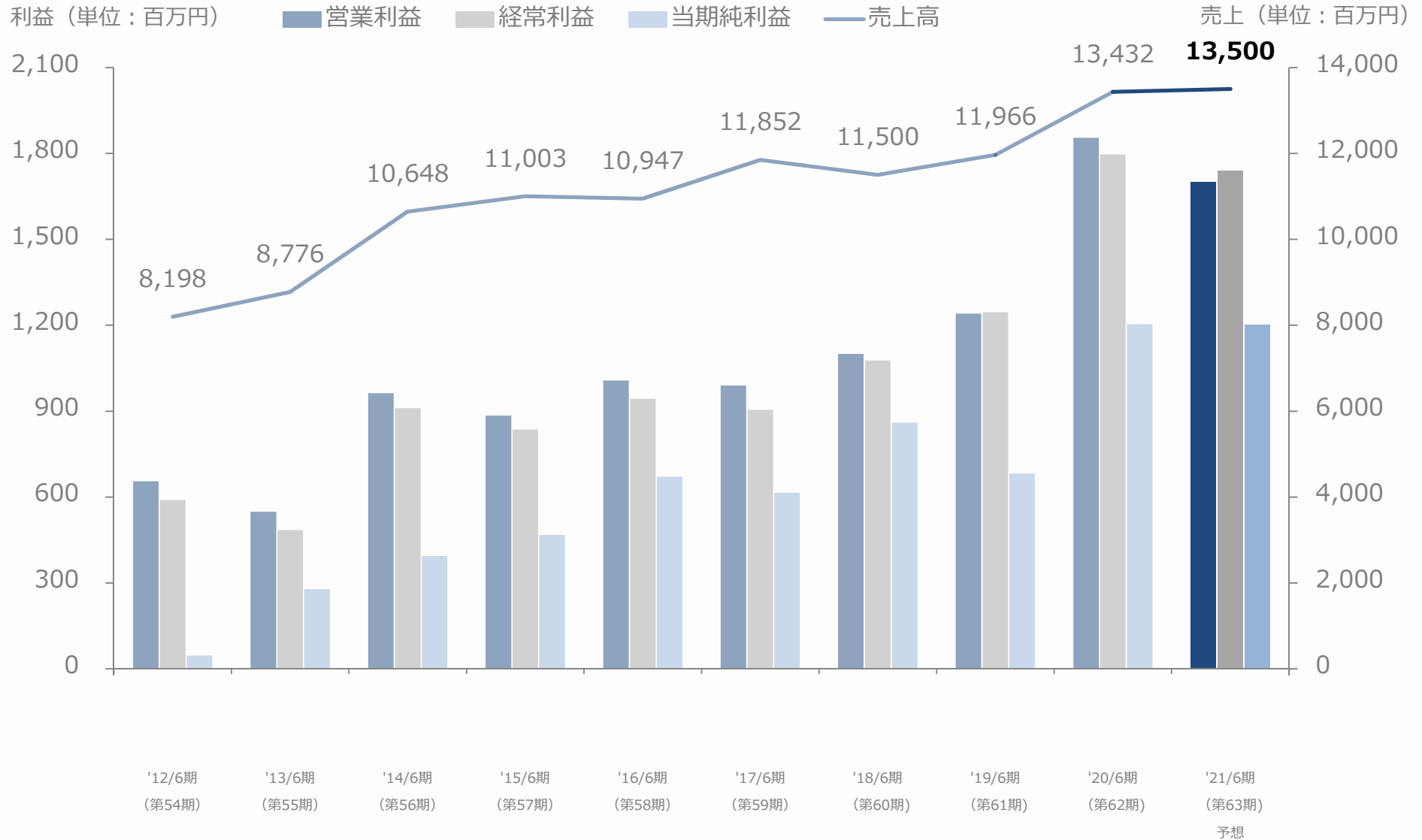
2021年6月期（第63期）予想

第2四半期累計期間の業績及びその後の状況を踏まえ期末の業績見通しを精査した結果、売上高及び各利益ともに当初計画を上回る見込み

(単位：百万円)

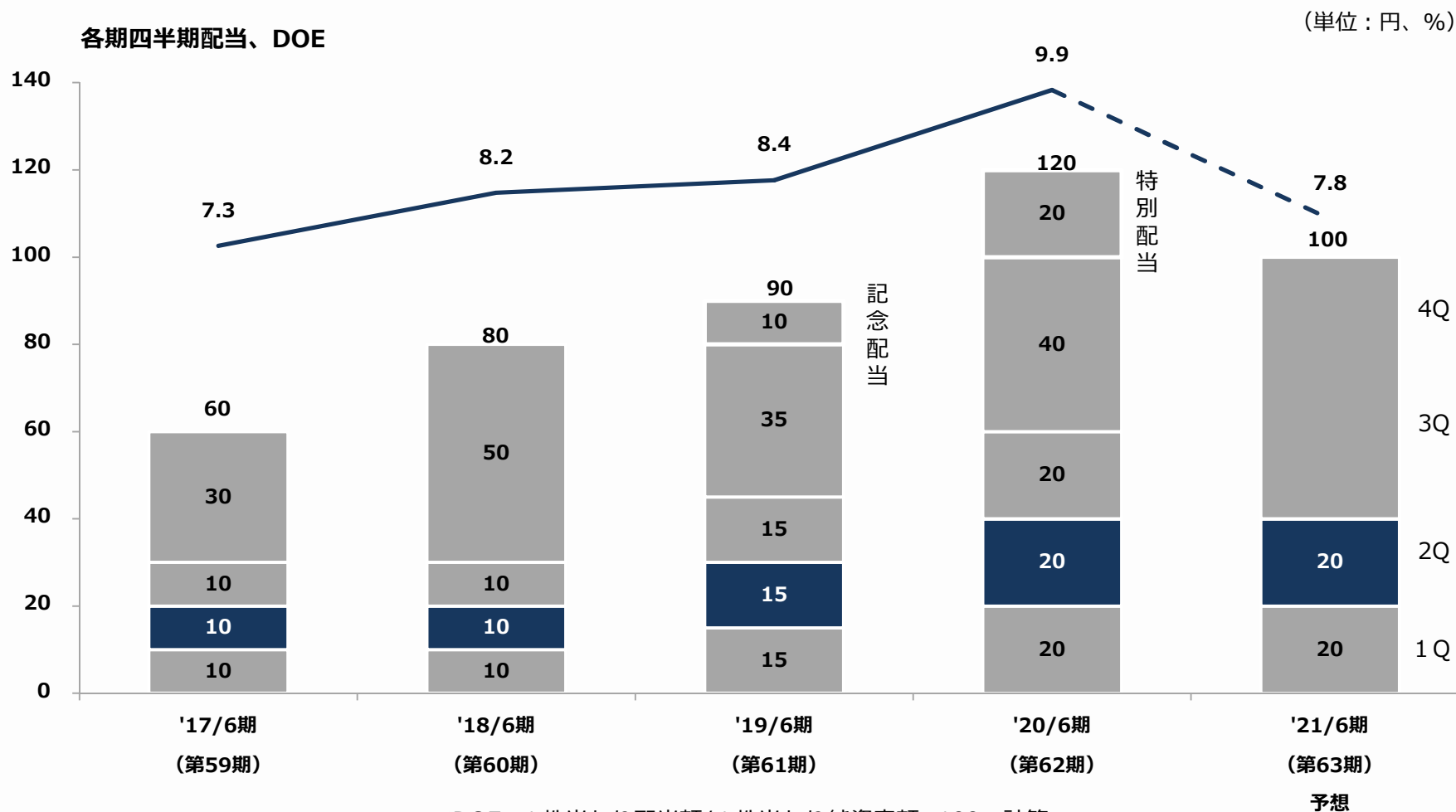
	'20年6月期 (第62期)	'21年6月期 (第63期) 当初予想	'21年6月期 (第63期) 修正予想
売上高	13,432	12,700	13,500
営業利益	1,855	1,500	1,700
経常利益	1,797	1,470	1,740
当期純利益	1,204	1,000	1,200

修正後の業績予想と過去の業績推移



過去配当実績と第63期配当金予想

配当方針に従い、継続的に安定配当を行う



Innovating for a Wise Future

工学知をベースにした有益な技術を
社会に普及させることで、
より賢慮にみちた未来社会を
ステークホルダーの皆様と共に創出していきたい

社会を創造するプロセスを重視し、
Innovatingを使用



【お問い合わせ先】

広報・IR室

T E L : 03-5342-1040

F A X : 03-5342-1042

E - M A I L : ir@kke.co.jp

H O M E P A G E : <https://www.kke.co.jp>

*Innovating for a **Wise Future***